



「さいたま市  
自転車ネットワーク  
整備計画」とは

### 自転車通行環境を整備します

「さいたま市自転車ネットワーク整備計画」は、「はしる」の視点で自転車が走りやすい通行環境を整備するための計画です。自転車利用が多い、事故の危険性が高いなど、整備の必要性が高い路線を中心に自転車ネットワーク路線を選定し、車道内に自転車専用車線を設けるなど整備を進めていきます。整備目標は、平成35年度末に現在の約13Kmから約200Kmにすること。並行してレクリエーションルート（案）の整備約50Kmも進め、自転車ネットワーク路線との連携も図っていきます。



清水市長も  
自転車で通勤！

毎週1回自転車で通勤している清水市長。「風を切って走ることのできる爽やかな気分になり、午前中の仕事もはかどります」

さいたま市では、健康にも環境にも良い「自転車に過度に依存しない交通体系」の実現を目指し、自転車専用通行帯の設置、子ども自転車運転免許制度、駐輪場の整備、コミュニティサイクルの運用などを行っています。また毎年9月には、「さいたまカーフリーデー」を開催し、皆さんと一緒に環境と都市交通について意識を高めてきました。10月には「2014 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」を開催し、本格的な自転車レースを身近な環境で楽しんでもらうとともに、市民の皆さんに自転車に親しんでもらうきっかけづくりを行っています。これからも、安全・安心に、そして快適に自転車を利用できるまちづくりを進めていきます。



### 気軽に乗って、駐輪も心配いらず コミュニティサイクルの今

自転車政策の「とめる」の一環として、2013年5月に運用が開始されたコミュニティサイクル。現在、大宮駅を中心とした半径約3km圏内にサイクルポート20か所、250台が整備され、駐輪場対策の一端を担っています。運用が始まって約1年半。コミュニティサイクルはどのようになりに役に立っているか、利用状況をお伝えします。

通勤やレジャー、買い物などさまざまな場面で利用されているね！



#### 貸出回数と時間帯別利用状況 貸出回数が多い上位3ポート

- 1位 大宮駅東口 朝貸出、夕方以降返却が多い。駅～勤務先など目的地的利用が多いとみられる。
- 2位 大宮駅西口 朝返却、夕方以降貸出が多い。自宅～駅間の利用が多いとみられる。
- 3位 与野本町駅

#### ポート間の利用状況

■貸出ポートに次いで多い返却先

借りる	返す
大宮駅東口	合併記念見沼公園 北区役所 NACK5スタジアム 大宮図書館
大宮駅西口	三橋総合公園 与野本町駅 大宮駅東口 イオン大宮店
与野本町駅	大宮駅西口 与野駅

## 「安全で元気な自転車のまち」を目指し まちの整備や広報活動を行っています

さいたま市では、健康にも環境にも良い「自転車に過度に依存しない交通体系」の実現を目指し、自転車専用通行帯の設置、子ども自転車運転免許制度、駐輪場の整備、コミュニティサイクルの運用などを行っています。

# 自転車を楽しもう！



さいたま市は全国的にも自転車の保有率が高く、利用者数も増加しています。そこで、市では市民の皆さんに自転車の魅力をより実感してもらえるよう、「たのしむ」「はしる」「とめる」「まもる」という4つの柱で自転車のまちづくりを進めています。

市の取り組みと、自転車を楽しむために活動している方たちのお話、次世代の自転車などについてご紹介します。



愛車のインターマックス。車体が驚くほど軽い！この自転車で3年間、実業団の自転車レースに出ていたときは月1,500kmは走っていたそうです。

**プロフィール**  
元F1レーサー。2001年Team UKYO設立。モータースポーツ、自転車ロードレース、登山などの活動を行っている。よりよい自転車ライフスタイルの提案を行う「自転車グッドチャリズム」リーダー、第4代自転車名人。2014年9月1日さいたま自転車まちづくりアドバイザーに就任。



さいたま  
自転車まちづくり  
アドバイザー  
片山右京さん

**自転車は歴史あるスポーツです**  
自転車は、ヨーロッパでは本場フランスのツール・ド・フランスが昨年100周年を迎えたように、サッカーや自動車レースのF1と並ぶ歴史あるスポーツです。私自身は40代前半に自転車に出会いレースを始めましたが、今50代になって改めて「自転車は乗れば乗るほど楽しくて、可能性のある乗り物。健康にも良いし、環境にも良い」と思うようになりました。日本では自転車の歴

史が浅いので、2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムなどを通して、市民の皆さんに自転車の魅力をお伝えしたいと思います。  
**ルールやマナーを守って楽しもう**  
自転車では走ると、車では気づかない距離感や、車では見えずに通る過ぎてしまうもの、風や匂いなども感じるようになります。しかし、自転車に安全に楽しく乗るためには、交通ルールの遵守やマナーの向上も必要です。自転車は道路交通法上は「軽車両」の扱いなので、自動車と同じく道路では左側通行、飲酒運転も禁止です。まずは大人がルールを守ることが肝心です。利用者一人ひとりが意識を高め、安全に自転車を楽しめるようになることを願っています。



「自転車は楽しく、可能性のある乗り物  
多彩な魅力やルールの大切さを伝えたい」



# みんな

自転車は個々で楽しむイメージがありますが、自転車のロードレースがチームで行われるように、チームスポーツの側面もあります。仲間と一緒に走る楽しさとは？

東浦和を拠点に活動し、さいたまカーフリーデーや西来る(サイクル)フェスタ、2014ツール・ド・フランス さいたまクリテリウムなどにも協力しているサイクリングクラブAMBCOの練習にお邪魔しました。



▲毎週日曜日の朝、見沼自然公園周辺で練習しているAMBCOの皆さん。

## 川島 恵子さん

仲間と自転車でカフェに行き、手作りデザートを食べたり、苺蒲まで足を伸ばして名物のうどんを食べたりして楽しんでいます。

## 小野崎 繁幸さん

自転車に乗る人がマナーや安全を守るようにすることも、サイクリングクラブの役割の一つだと思っています。



## 鷺津 公有さん

皆で走る交代で風除けになるなど助け合えるので、一人では行けないような長距離でもツーリングを楽しめます。



# たのしむ！

「はしる」「まもる」「とめる」は、自転車を「たのしむ」ための取り組み。ここでは、取り組み。ここでは、る方や次世代の自転車情報などをピックアップしました！

# 親子

全国の交通事故のうち、約2割が自転車の事故といわれています。とくに子どもを乗せた自転車では、子どもが投げ出されるなど、悲惨な事故が目立ちます。自転車に乗る子どもの命を守るには、親が自転車のルールやマナーを守ることが大切です。どのような点に気をつければよいのか、親子が安全に楽しく自転車を利用できるような活動を行っている北方さんにお話をうかがいました。

## 自転車散策を楽しもう

自転車を日常的に楽しみたい方には、自転車散策がおすすめです。さいたま市には、見沼や氷川神社、新都心、鉄道博物館など豊かな自然や新旧の見どころが揃っています。散歩をする感覚で自転車でめぐってみると、まちがより身近に感じられるようになります。

さいたま市サイクリング連盟 理事長 渡邊 廣次さん

**プロフィール**  
サイクリングの普及、発展のために活動。さいたま市や埼玉県と協力し、乗れない人の自転車教室や新春サイクリングなどを開催。2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムでは、市民参加の体験コース運営に携わる。

## ママが握るのはハンドルと子どもの命

おやこじてんしゃプロジェクト

(株)パワーウーマンプラス 代表取締役 北方 真起さん

私自身が子どもを自転車に乗せていて事故に遭った経験から、親子が安全に楽しく自転車に乗れるように「おやこじてんしゃプロジェクト」を立ち上げました。「地域のママが地域のママに伝える」をコンセプトに、関東と関西でファシリテーター(進行役)を養成し「おやこじてんしゃ勉強会」を開催しています。勉強会なので、教えるというより一緒に学びましょうというスタンス。ママたちに子どもを自転車に乗せる際の最低限のルールを知ってもらい、意識を変えてもらうことが目的です。

子どもにとって自転車に乗るのはワクワクする体験です。そのワクワク感を台無しにしないためにも、安全第一で走ってほしいです。そして自転車だけでなく、歩行者や自動車にも配慮しお互いに譲り合える社会になるとよいですね。



▲[SAITAMA Smile Women フェスタ2014]にて行われた「おやこじてんしゃ勉強会」の様子。7組の親子が参加され、子ども乗せ自転車の選び方など、ファシリテーターの話に熱心に耳を傾けていました。

**プロフィール**  
企業、行政に女性、ママの声を届けるとともに、東京都自転車安全利用推進計画協議会委員を務めた経験を持つ。「自転車まちづくりシンポジウムinさいたま」では講演を行い、親子で自転車に乗るときの安全の大切さを訴えた。  
・おやこじてんしゃプロジェクト  
<http://powerwomen.jp/project/bike/>

## 親子で安全に自転車を楽しむための約束

- 子ども乗せ自転車は、自転車安全整備士のいる店で相談して選ぼう。
- 初めて乗るときは事前に練習しよう。
- 自転車に乗るのは移動だと考えると焦る。親子で楽しむ時間と考えよう。

(「おやこじてんしゃの10のやくそく」より)



## 産学連携プロジェクト

# さいたま発！ 未来の電動自転車 進化を楽しむ

**電動自転車用非接触充電システムを開発** **ベルニクス**  
飛行機や列車の制御機器などの各種電源を製造している(株)ベルニクス(南区)では、埼玉大学と協同で電動自転車向けの非接触充電システムを開発しました。一般的に電動自転車はバッテリーユニットを外して充電しますが、このシステムを利用すると、バッテリーユニットを外すことなく自宅のガレージやサイクルステーションなどに自転車を駐輪した状態で充電できます。また、GPS情報を活用したナビゲーションが利用できるなど、便利な楽しみ方も。同社の鈴木正太郎社長は、「歩くのにはつらい距離でも、自転車では回遊することができます。ナビを使って、家族で風を感じてまちや観光地をめぐるなら、素晴らしいと思います」と語ります。

**スロットルで発進、加速するフル電動自転車** **埼玉大学**  
フル電動自転車は、人のこぐ力に加えて電動のパワーを補助として使用するアシスト自転車とは異なり、電動のモーターで動く新しい自転車です。現在は自転車として公道を走ることにはできませんが、さいたま市では「低炭素型パーソナルモビリティの普及」を目指して埼玉大学等と協同で研究に取り組んでいます。このフル電動自転車の試乗会をさいたまカーフリーデーや区民祭りなどで実施し、参加した方たちからは「通常のアシスト自転車よりも発進時の安定性があると感じました」「原動機付自転車に乗るのは躊躇しますが、これなら安心して乗れます」などの感想が寄せられています。



自転車スタンドに設置するだけで充電可能。

スマートフォンで決済もできるようになります。



さいたまカーフリーデー2014での試乗会。運転免許保有者を対象に実施しました。